

備若松城下明細圖



1

2

3

4

5

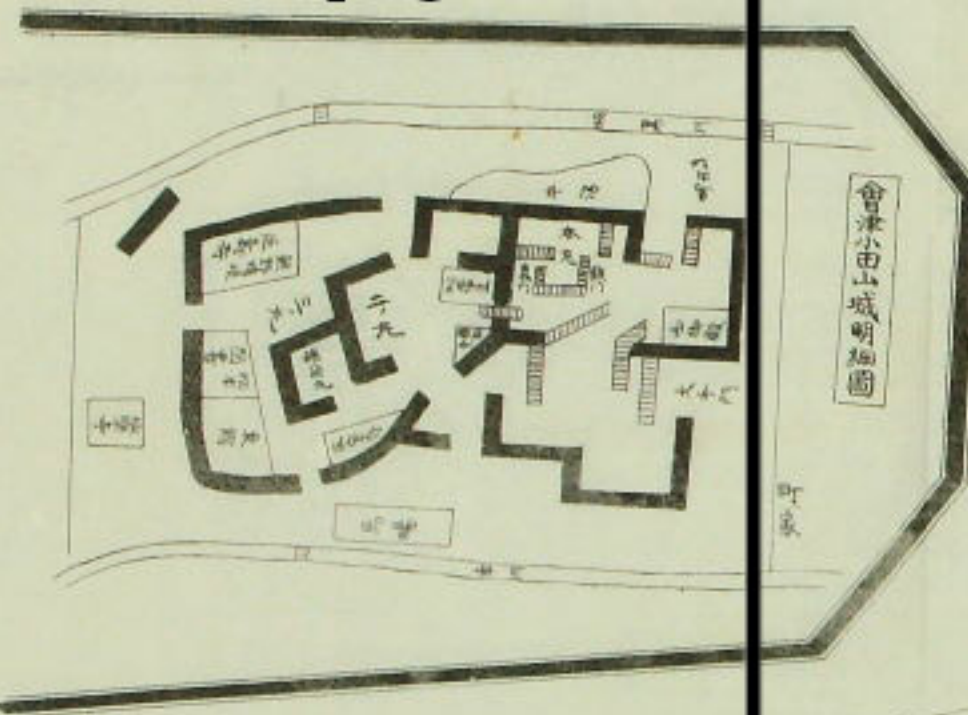
6

7

8

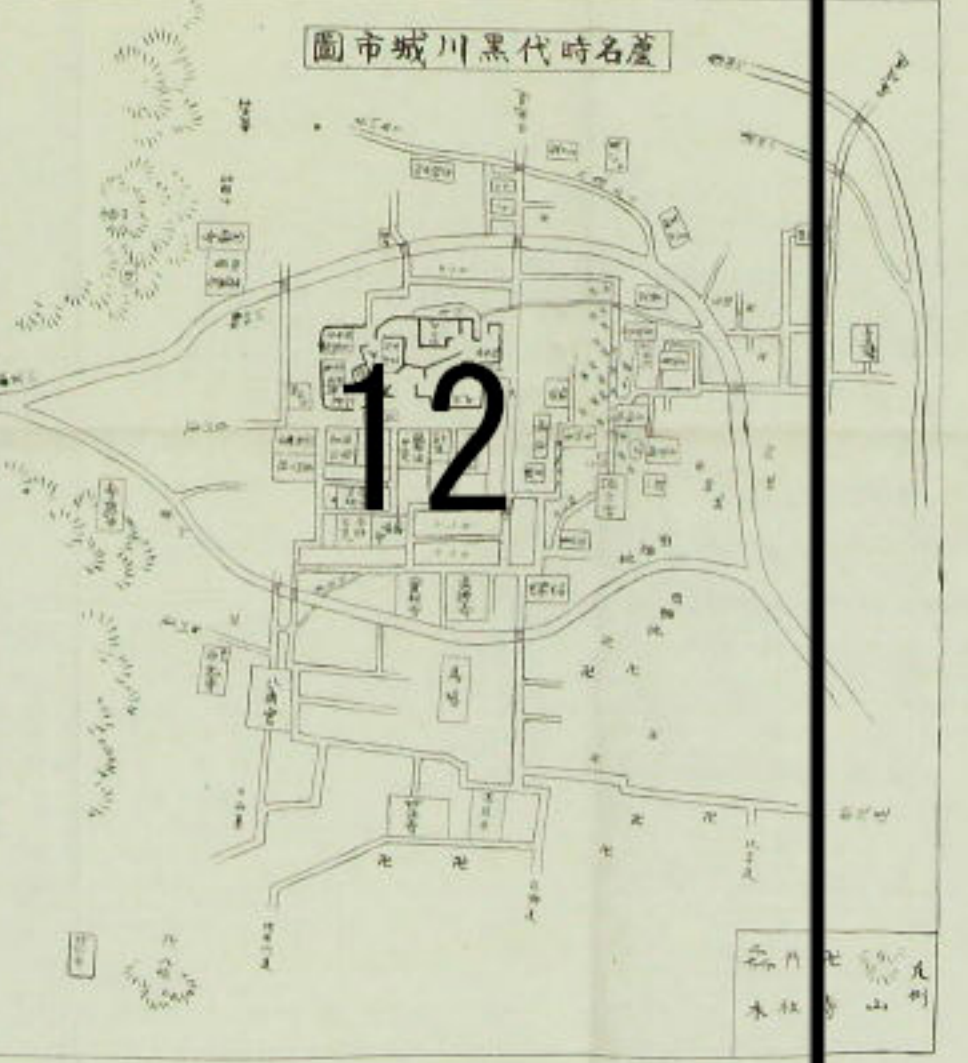
9

10



備若松城下明細圖
此圖係備若松城下之明細圖也。其城下之街道、屋宇、寺廟、學校、以及各種建築，均一一繪出。其城下之範圍，自城下町起，至津島町止。其城下之街道，均係南北向之街道。其城下之屋宇，均係木造之屋宇。其城下之寺廟，均係佛敎之寺廟。其城下之學校，均係儒學之學校。其城下之各種建築，均係各種之建築。此圖之繪製，係由備若松城下之明細圖而來。其城下之範圍，自城下町起，至津島町止。其城下之街道，均係南北向之街道。其城下之屋宇，均係木造之屋宇。其城下之寺廟，均係佛敎之寺廟。其城下之學校，均係儒學之學校。其城下之各種建築，均係各種之建築。此圖之繪製，係由備若松城下之明細圖而來。

備若松城下明細圖
此圖係備若松城下之明細圖也。其城下之街道、屋宇、寺廟、學校、以及各種建築，均一一繪出。其城下之範圍，自城下町起，至津島町止。其城下之街道，均係南北向之街道。其城下之屋宇，均係木造之屋宇。其城下之寺廟，均係佛敎之寺廟。其城下之學校，均係儒學之學校。其城下之各種建築，均係各種之建築。此圖之繪製，係由備若松城下之明細圖而來。



11

12

13

14

15

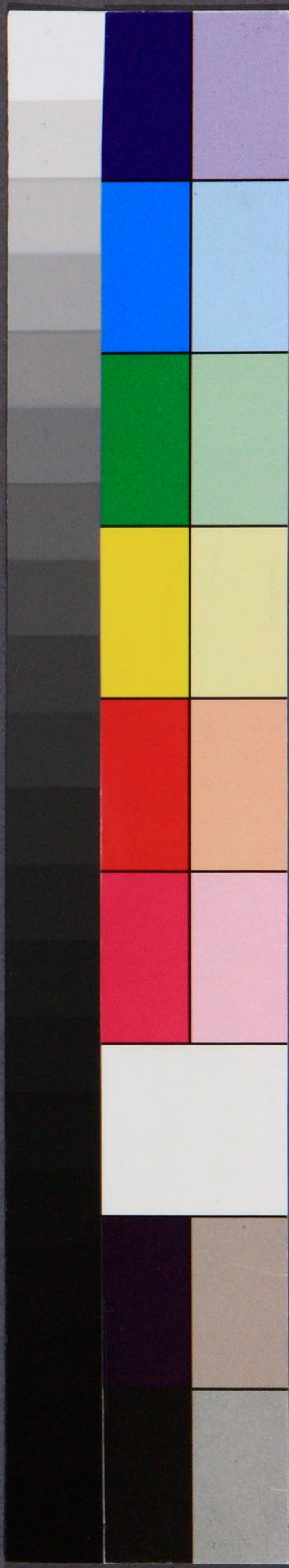
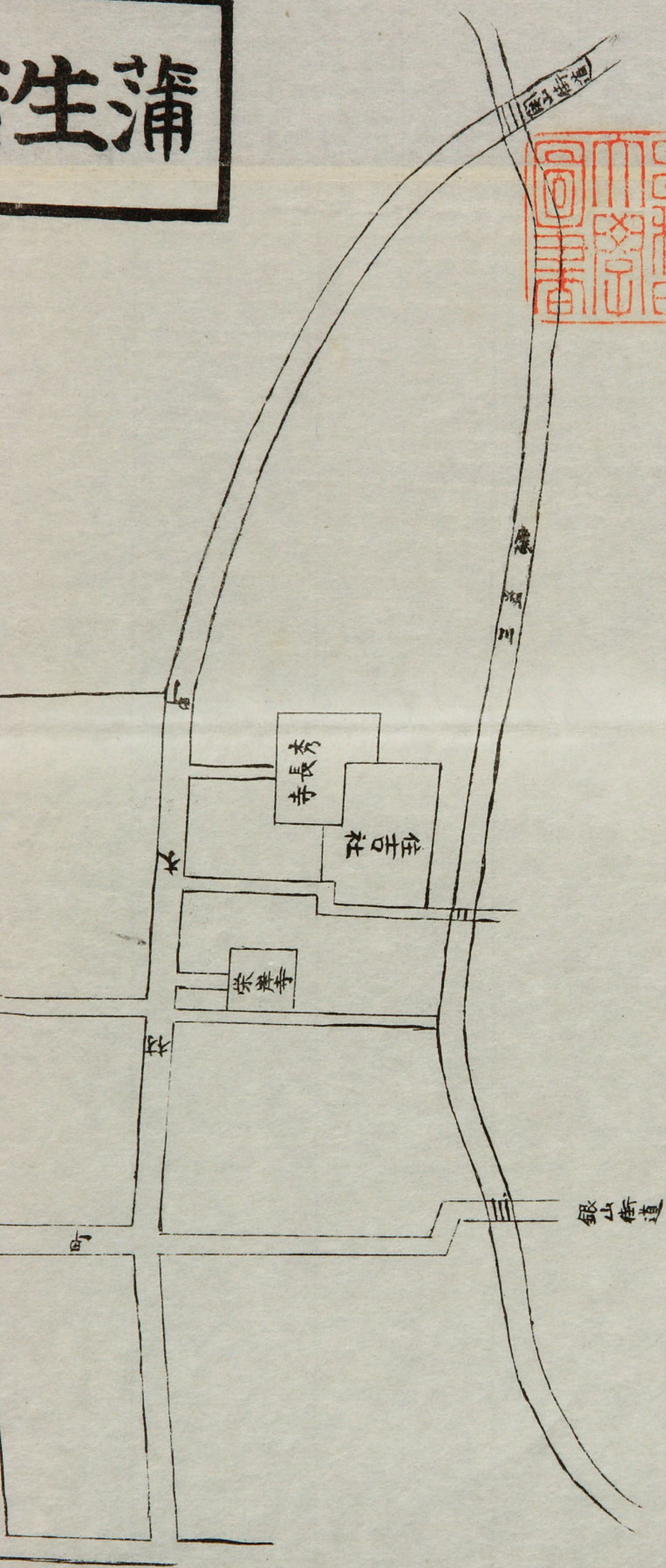
版所推
明治三十四年七月出版
定價全本拾元
若作並發行
加藤長四郎
印刷者三益堂
川野田芳次郎
全圖分上下四冊出售



4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

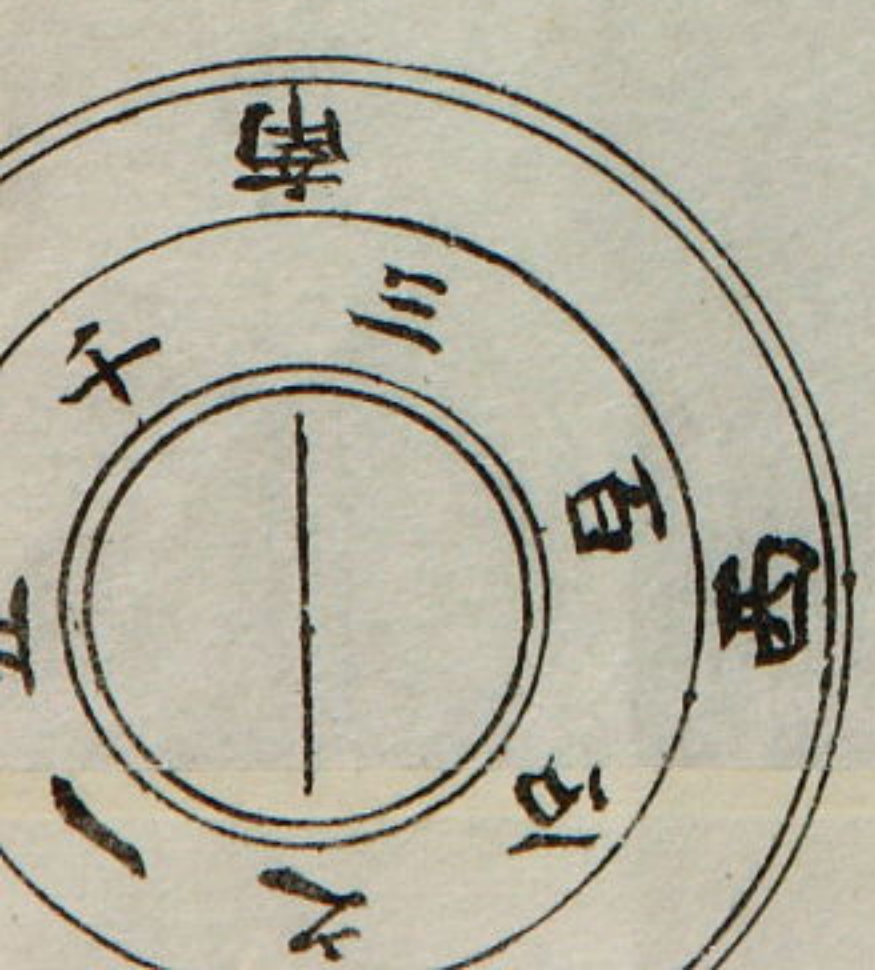
蒲生

門ヶ良5
號 410
卷 44



蒲生若松城下明細圖





白河街道

御藝園

宗英寺

極樂寺

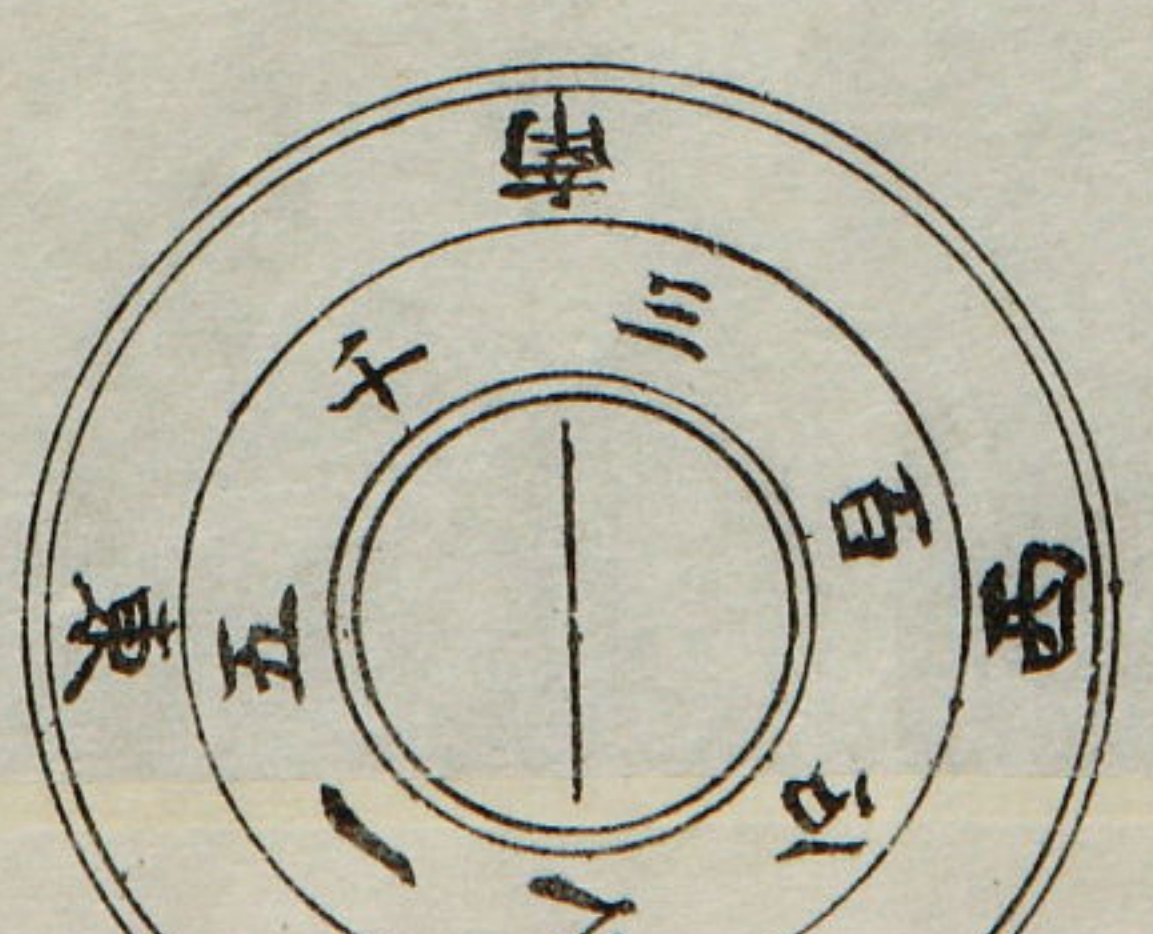
芦名家廟所

寶樓寺

惠倫寺

善光寺





白河街道

宗英寺

御蔭園

天香寺

中島

三藏

外池

三藏

牛養

今田村

芦名家廟所

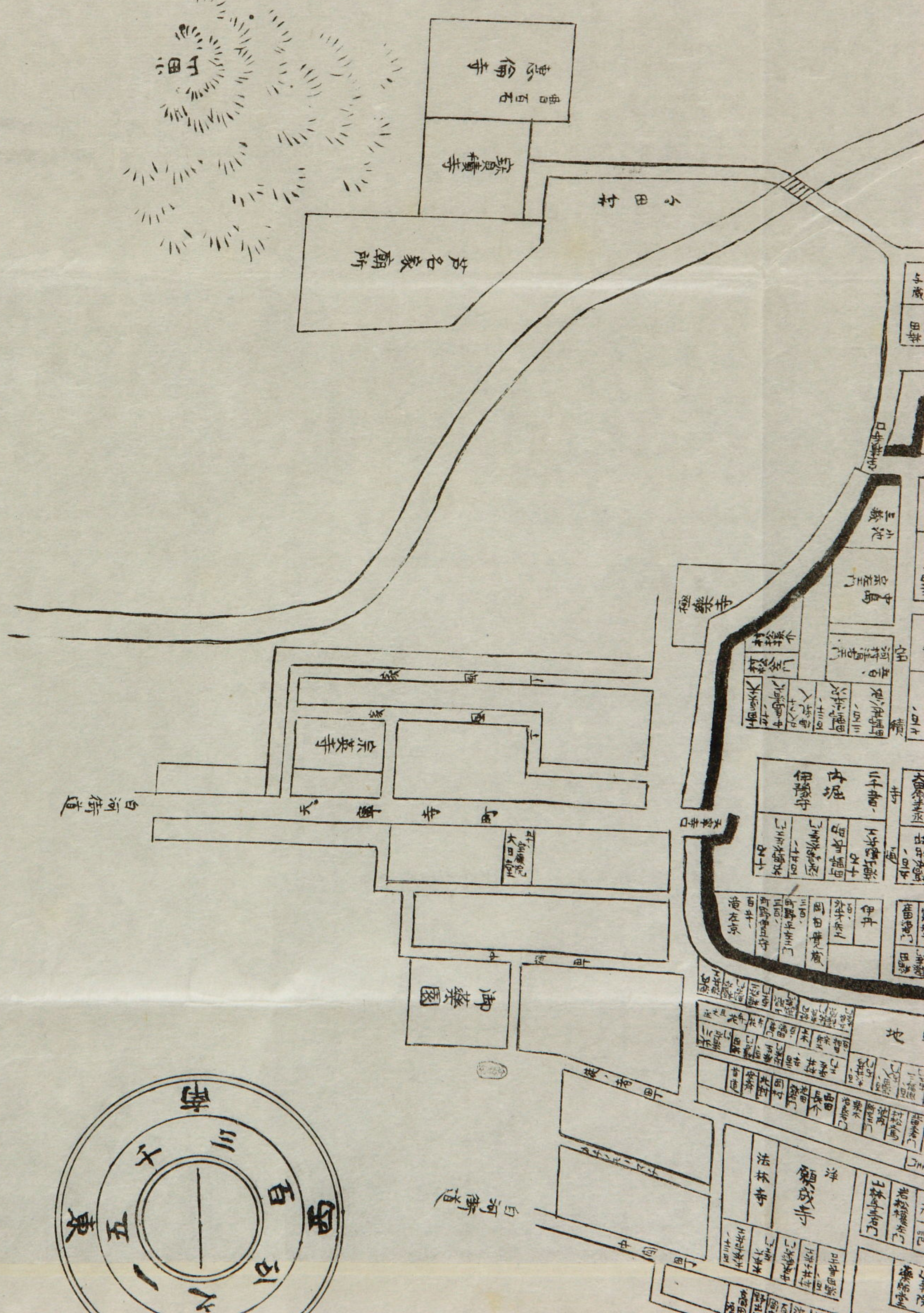
宗慶寺

惠倫寺

曾百石

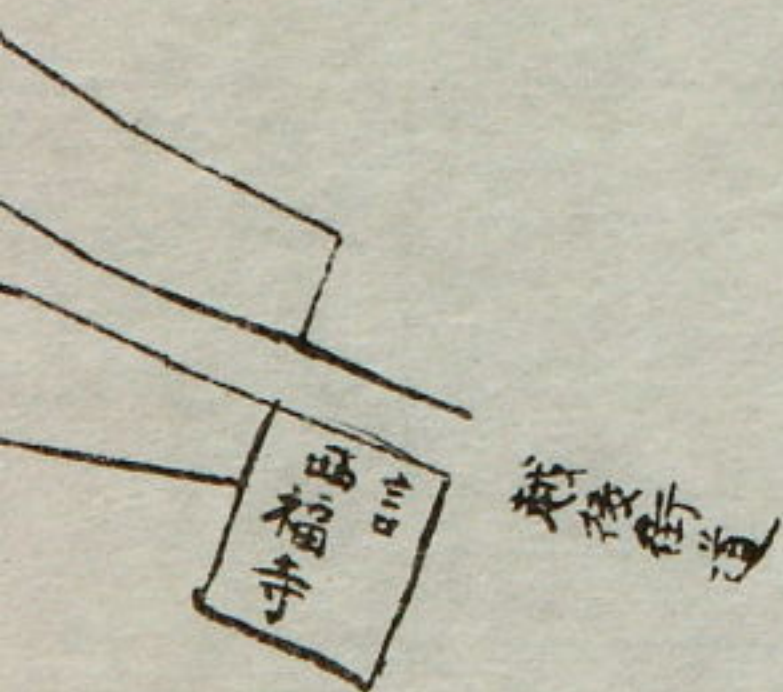
下田

下田



本圖ハ某氏ノ蔵スルヲ採リ諸士奉
 公人始メ寺院ノ俸録ハ元和七年三月
 蒲生忠郷公ノ重臣稲田數馬之助
 本山豊前等ヨリ徳川將軍監吏
 ニ呈シタル分限帳ヲ本領トシ又各町
 名称及神社佛閣ノ住地等ニ至テハ
 新編會津風土記ニ拠リ是ヲ參照シ
 而シテ大ニ訂正増補ヲ加エタリ

市高六拾万石會津若松城主正四位上
 參議宰相蒲生下野守藤原忠郷公
 附屬城
 ○白河 ○二本松 ○三春
 六個所
 ○長沼 ○楯苗代 ○津川





而して大訂正増補ヲ加工タリ

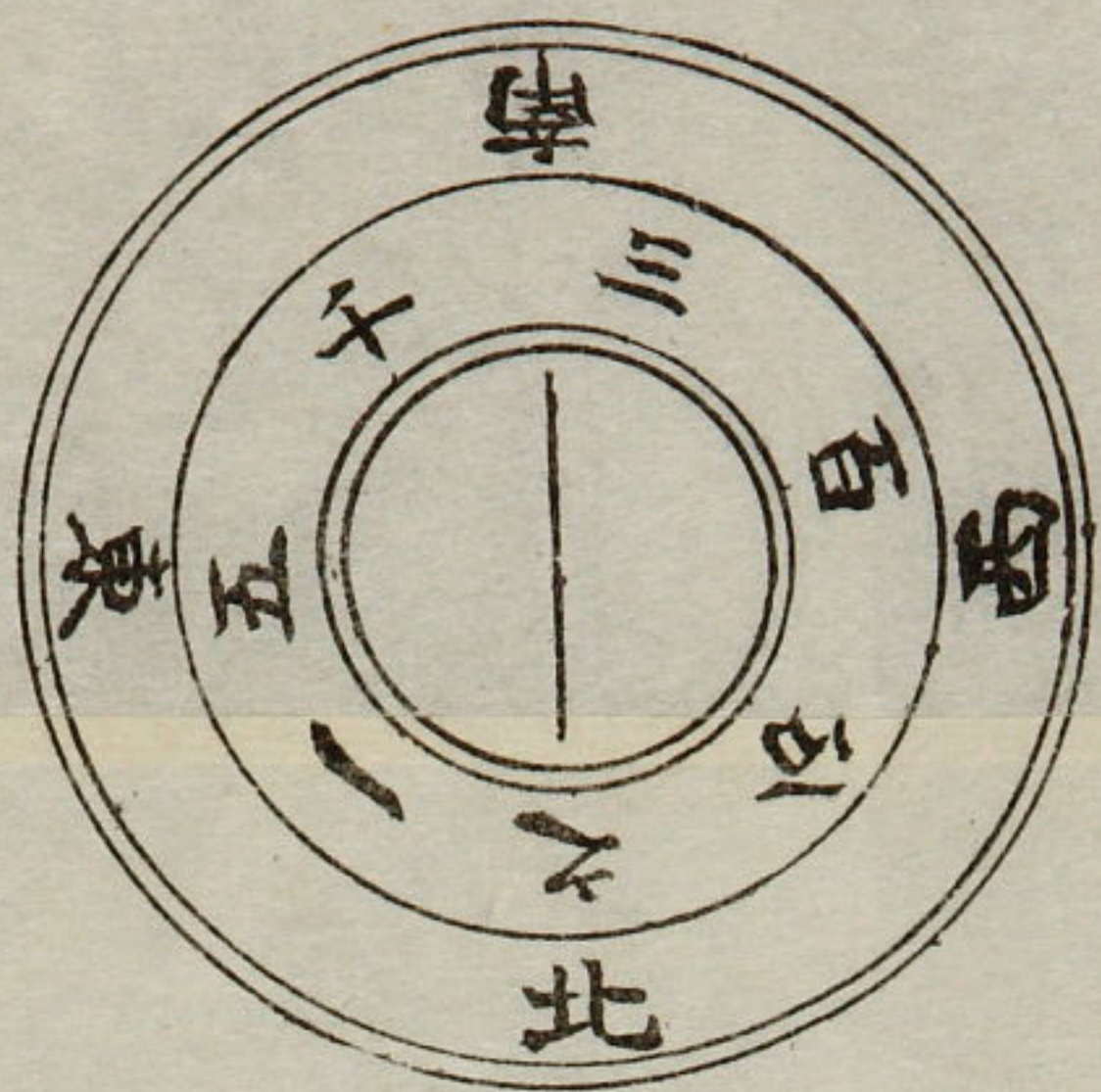
市高六拾万石會津若松城主正四位上
 參議宰相蒲生下野守藤原忠郷公
 附屬城 ○白河○二本松○三春
 六個所 ○長沼○猪苗代○津川

立石以上三ヶ本國三河久諸士
 二千石度沼下總守 中五石度沼下總守
 千石石大塚十善次 古石石町野左衛門
 古石石大塚治生 古石石菅沼助左衛門
 古石石道宗孫八郎 古石石上高作之丞
 全 柴田少五郎 全 岩田内記之助
 全 内堀清盛

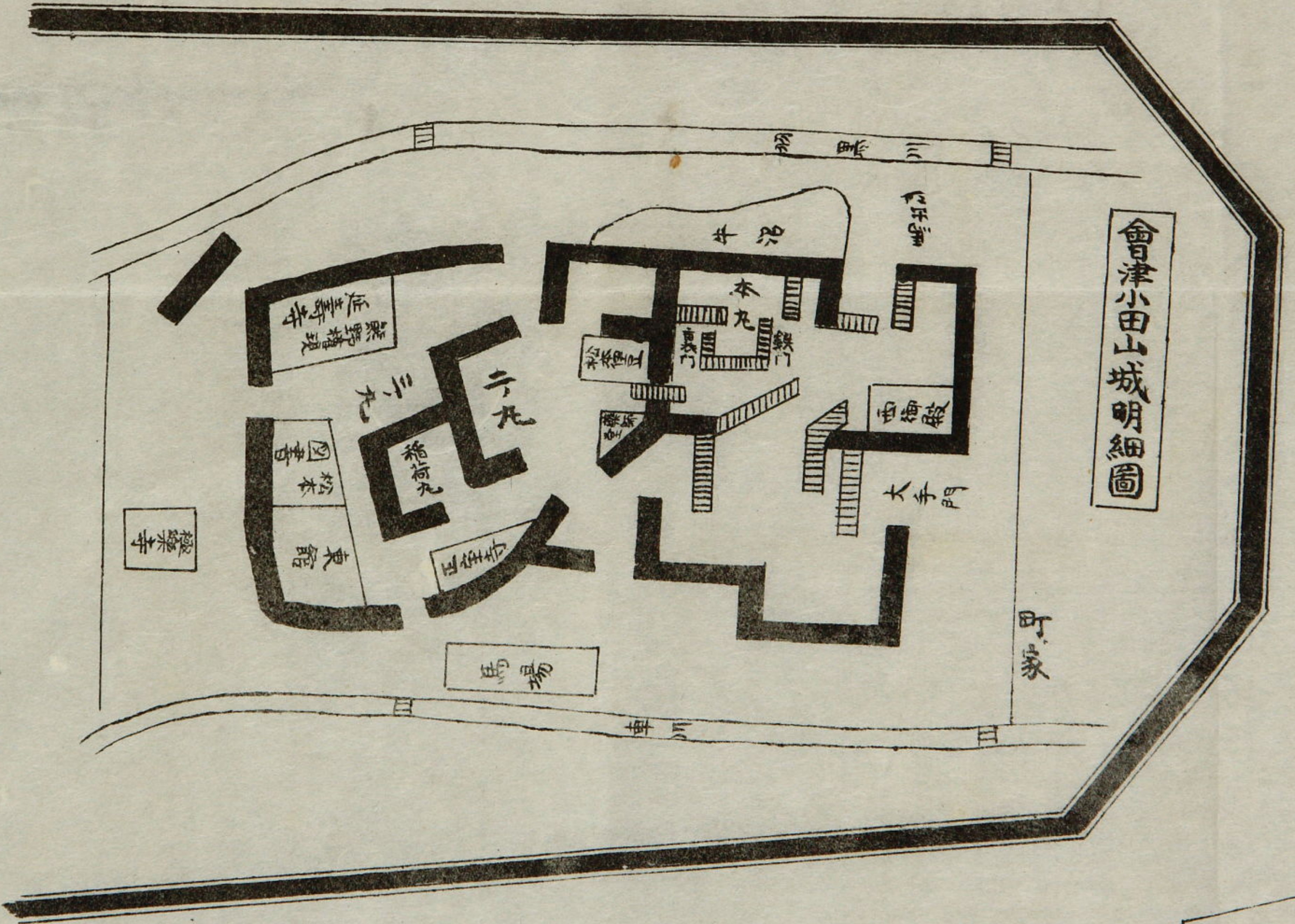
治承年間鎌倉右大将頼朝公
 弓佐原十段左門尉義連會津ヲ
 賜分子孫連綿して天正年間ニ
 至四百七十年世ヲ累又二十代就中
 由盛、築城盛氏、勇武世ニ顯ル
 而して末世若名義廣十七年六月五日
 伊達政宗、若メ摺上原一戦ニ打破
 ラレテ終、國家亡滅ス若名家地畠
 索ル教十年今般漸ク見當レリ不
 完備、畧四ナカラ参考ニ供ス於茲
 戊辰若松城下圖鶴ヶ城本丸圖保
 科加藤ノ三圖ハ既ニ出版セリ會津
 歴史圖ハ本圖ヲ以テ完全ヲ告ク

米沢街道

越後街道



會津小田山城明細圖



石上森金山道

白河街道

御藝園

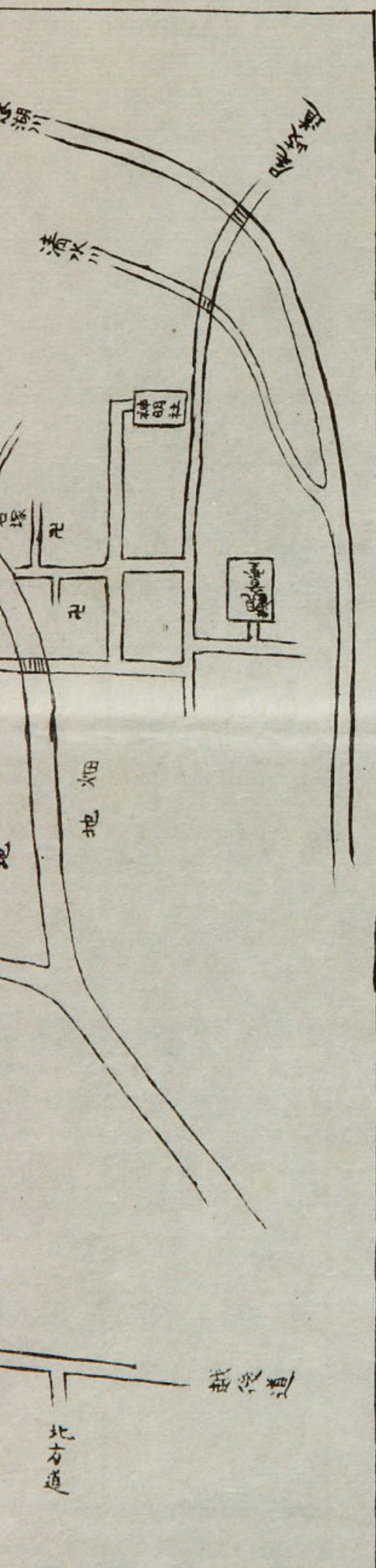
願成寺

法林寺

日蓮宗
妙國寺

三其山
八幡社

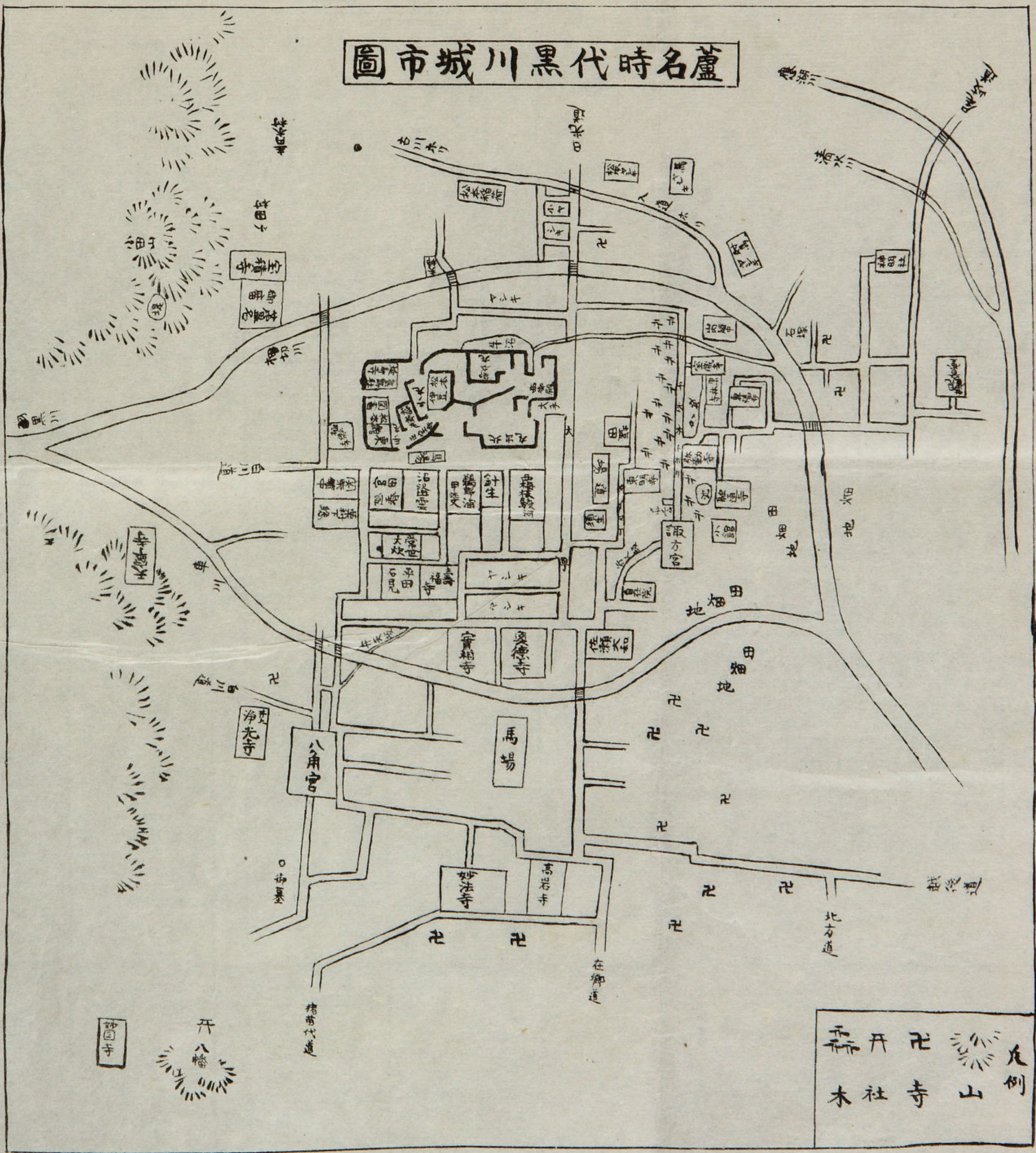
慶應、有長十一



木	社	寺	山	例
示	开	正	山	例

取年間鎌倉右大将頼朝公
 佐席十段左門尉義連會津ヲ
 分り子孫連綿トシテ天正年間ニ
 四百七十年世ヲ累又元二十代就中
 盛ニ築城盛氏ノ勇武世ニ顯ハル
 テ末世芦名義廣十七年六月五日
 以改宗ノ為メ摺上原一戦ニ打破
 テ終ニ國家亡滅ス芦名家地畠
 凡數十年今般漸ク見當レリ不
 備ノ畧圖ナカラ参考ニ供ス於茲
 瓜若松城下圖鶴ヶ城本丸圖保
 藤ノ三圖ハ既ニ出版セリ會津
 圖ハ本圖ヲ以テ完全ヲ告ク

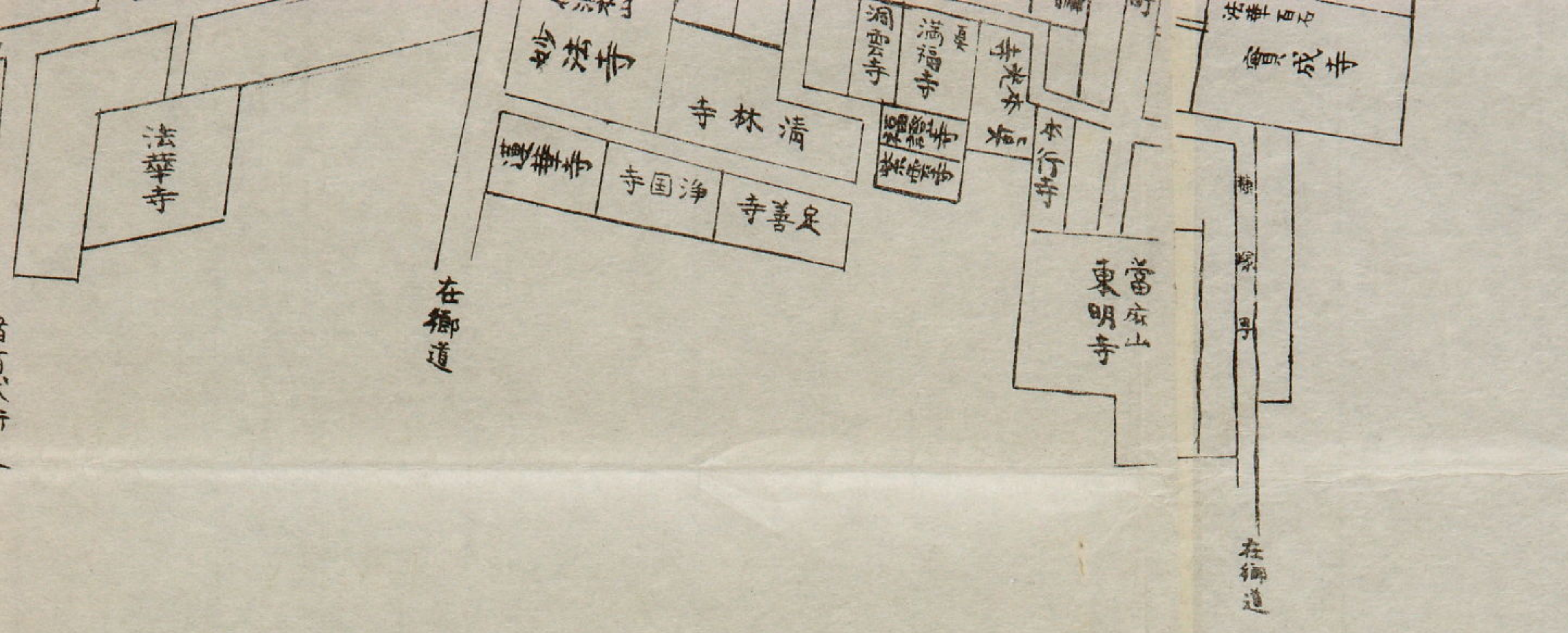
蘆名時代黒川城市場圖



蒲生氏ハ藤原鎌足末裔鎮西府將軍秀郷より出づ其七世の孫雅俊陸奥より出づ蒲生郡ニ移り
 名来蒲生を以て氏トシ世々茲ニ居住す皇震數百年文龜年間蒲生貞秀あり人ヲ推髪一七皆
 周ト号し細川政元の族澤藏軒近江を略七日郡城ヲ薄ク智南才畧謀計を以て之を退くむ其子高松女
 子定秀其子賢秀俱ニ六角義賢ニ仕ル永禄十一年織田信長ノ為ニ六角氏亡滅す及んで賢秀歸城ニ
 置たり親族神戶具成國の勅めよりて織田氏ニ降れり子息氏郷を携へて信長ニ謁す時三年南を十三
 信長之を親て曰く此子眼光物を非常人あり以て我督と爲す一と天正十年六月臣光秀信長を弑せ
 時賢秀安土ニ留守城中の諸將士其危きを怖き空ニ日懸より氏郷を招く氏郷兵馬雲下を隨ひ信長の夫

畧四ナカラ参考ニ供ス於茲

若松城下圖鶴ヶ城本丸四保
藤ノ三圖ハ既ニ出版セリ會津
四ハ本圖ヲ以テ完全ヲ告ク



蒲生氏ハ藤原鎌足末裔鎮西府將軍秀郷より其七世の孫惟後陸奥より此江浦生郡ニ移り
名来蒲生と以て氏と世々茲ニ居住す皇朝數百年文龜年間蒲生貞秀あり人ヲ難髪して皆
周と号し細川政元の族澤藏軒也江を略七日郡城ヲ薄る智南才畧謀計を以て之を退ぐむ其子高俊
子定秀其子賢秀俱ニ六角義賢ニ仕少永禄十一年織田信長ノ為ニ六角氏亡滅す及んで賢秀日野城ニ
置たり親族神戶具成盛の勧めによりて織田氏ニ降れり子息氏郷を携へて信長ニ謁す時二年甫めて十三
信長之を視て曰く此子眼光物を射常人にあひ以て我輩と為すべしと天正十年六月臣光秀信長を弑せ
一時賢秀安土ニ留守し城中の諸將士其危きを怖も空口誓より氏郷を招く氏郷兵馬雲下を隨ひ信長の夫
人を逐て日野城ニ入りぬ十一月賤ヶ嶽の軍ニ羽柴方ニ味し伊勢龜山を給はりし後弟ある間一政代々の居
城多れいと彼ニ異れ人事を乞て其許を清けぬ氏郷後五位下飛騨守ニ任せらる十二年四月父賢秀
卒去以歳同右松島十二万石ヲ封せられ從四位下侍從ニ進じ十五年秀吉公島津氏を伐つや公從軍秋月の將熊井
雄中ノ獲たる廢石塚を拔きて武名全軍ニ付たりと次て秀吉薩戸ニ向(遂ニ島津氏を降しぬ十六年四月公
ニ從位下左近衛權少將ニ昇り全圖松坂城きて移らる十八年三月田原の役ニ蜂須賀河而福島四則等と
先鋒とあり葦山城を攻めて功あり此條氏滅亡後公秀吉ニ從へて會津ニ下り殿下ノ選拔を請け奥州の
重鎮百萬石の大藩とあり公の威武懾して遠近ニ響けり今年十月大寄ニ乱起り木村秀俊佐治城ニ入りて
援と乞律とを以て御自ら歩騎六千大雪を冒して正月五罷軍于政宗飯坂城ニ兵志万五千にして之を
逐つニ其動靜甚れ疑へ公進んで政宗を促し而して彼軍を先登せしめ俱ニ大寄ニ到りぬ公松林ニ政
宗ハ吉岡ニ陣す軍議ニ事奇也公を毒殺せしと謀しと看破せりと云傳ふ今月十九日城の據る各生垣を攻
拔き斬首五百八十乃兵を収め城に入り公ハ使を馳せて政宗の叛心と逐一軍師ニ報せり十九年正月巡察使
法也長政四道上京せられ秀吉云具申す殿下大ニ怒り政宗を召す其死を亂し長井信夫伊達川田柴
田等も削り葛西大崎と異小其没収地悉く公軍功を賞と与られぬ次て南放ノ乱九戸政実叛して糠ア
城ニ拠る宗家なる南郡信玄平公ハ公ハ援を乞師ニ乞ふ甥秀次を將り各藩ニ令す公ハ亦兵三万を
率いて七月廿七日を以て先鋒として三城を拔き我を率いて糠部城を圍む城將遂ニ下りぬ今年十二月從三位
兼淡中納言ニ任せらる文禄元年朝鮮役ニ太閤殿下ニ從へて肥前名子耶の行營ニ入り軍議ノ席上公謂
て曰く鶴林臣ニ給り予一季以て席巻也と聞人として驚うめ殿下之より忌みたりと本國ニ今年六月
工と起し城廓市井を改築し翌三年五月落成鶴ヶ城と號し若松市を若松と改稱せり四年二月七日公病を
以て薨す年也十鳴呼英武ノ名情を喪ふ京於紫野大徳寺ニ分符と若松與徳寺ニ葬る嫡男秀行嗣く
二男弟ノ秀光ハ前田利政ニ嫁せり秀行南無と十三秀吉嫁して家康ノ三女振姫を配し飛騨守ノ位す
四年七月秀行京師より會津ニ入り從四位下侍從ニ任す幾年より慶長三年重鎮の會津八年は秀
行ノ任ニ非らずと一守都宮十八万石を異へて移封せし越後の上牧景勝ハ百五十万石と成りて會津城と交
代せし其三月より秀行守都宮に移りて翌々年間中原ノ軍起り結城秀康と居城を守り景勝を拒む
三成七ひ景勝降る及ひ秀行功を以て回領ニ復せられ六十万石を賜りて六年十月若松居城大ニ喜後
し五十一と八年石を全額發見其採額三百五十万兩ニ上れり其後如藤氏時代寂も盛とて六百四十万兩
俣科宗ノ至りて採額大ニ減せり傳ふ十七年秀行卒去せり年三十允殿館ニ葬る一女二男あり
女ハ將軍秀忠の養女として加藤忠廣ノ嫁す長男忠卿嗣く年十歳家康ノ外孫たりと以て元和二年

厚紙、有様ナリ

日行集
妙園寺

二葉山
八幡社

大和國重臣... 忠師... 権藏の五名として墓、神廟の側、ありと云

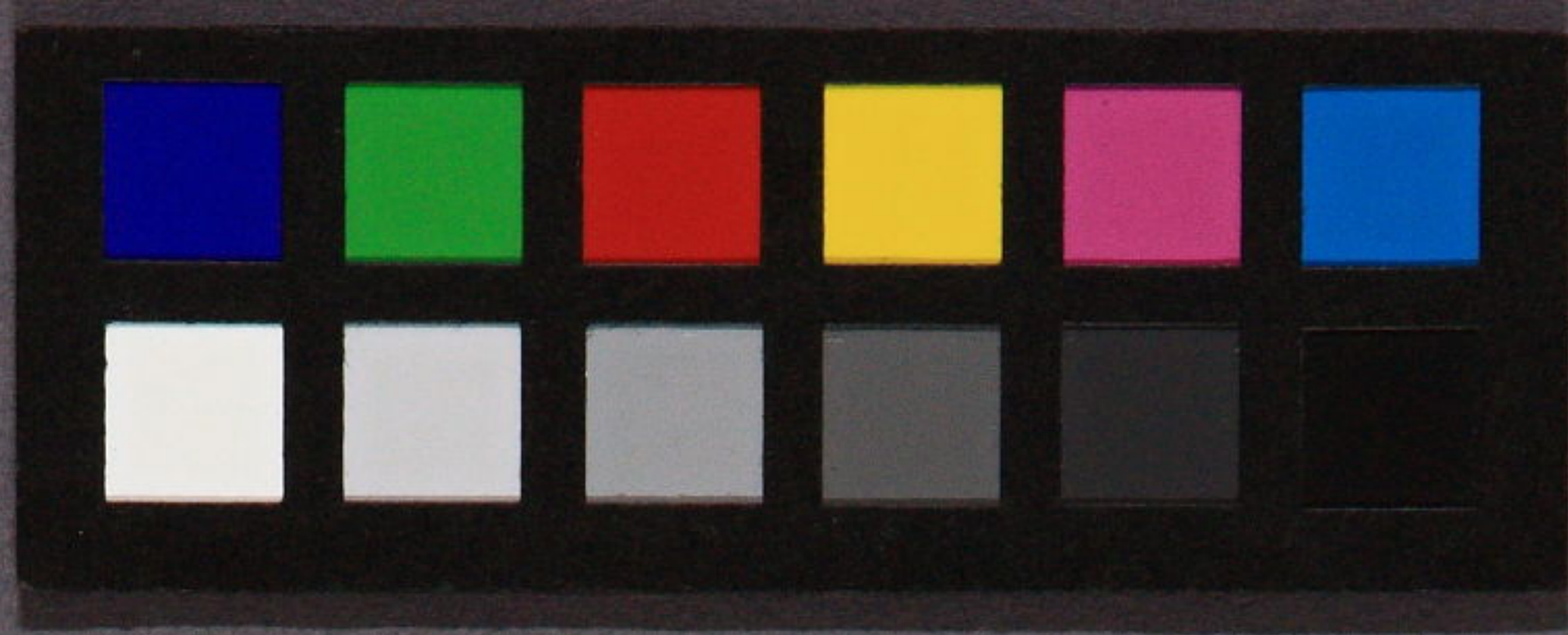
版権所有

明治四十四年十月日御届

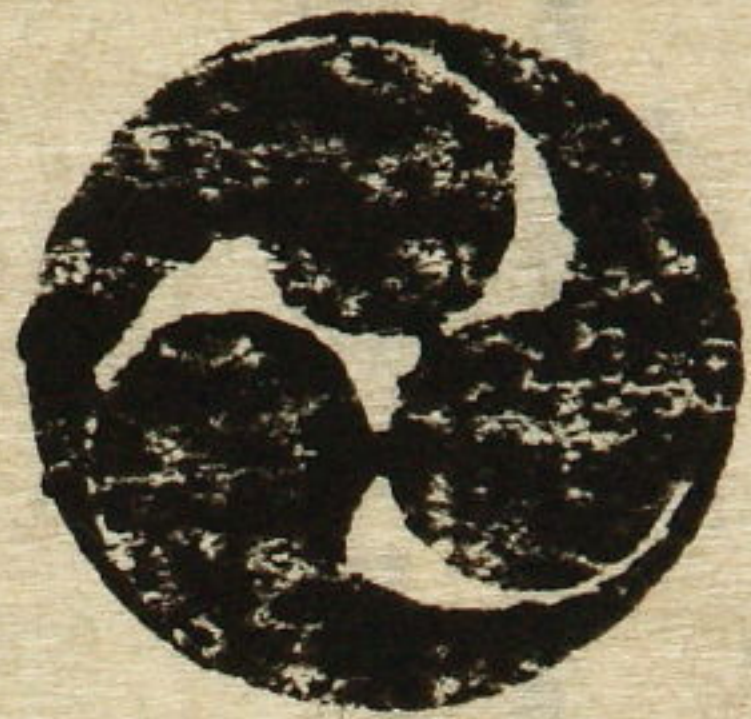
定價金 参拾五匁

著作兼發行者
加藤長四郎
福島縣若松市馬場上三町六番地

印刷者 **三芳堂**
川守田芳次郎
全縣全市七町百四十二番地



鶴城



會津

發行所

福島縣若松市

加藤商店

附録 芦名畧図

蒲生若松城下明細全圖

加藤長四郎編輯

